Medical Education for MR

ニュートラルな視点を身につける

MEDICAL EDUCATION EDITOR'S

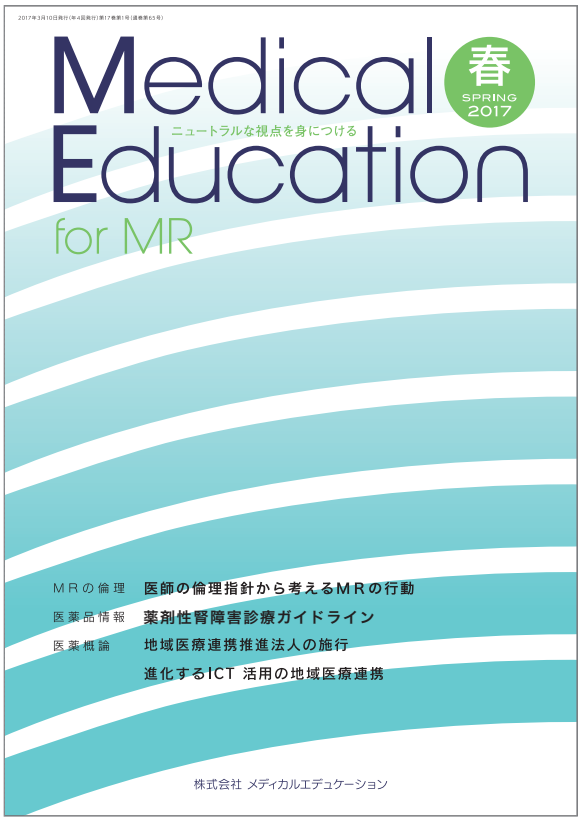
2017

『製薬業界唯一の MR 研修専門情報誌』
Medical Education for MR
2017 年度のご案内

株式会社メディカルエデュケーション | 〒160-0007 東京都 新宿区荒木町 13 番地 ハント四谷
TEL: 03-5368-2180 FAX: 03-5368-2181 | 企業ホームページ：https://medicaleducation.co.jp/
販売サイト：http://medicaleducation.shop/

2017.2

『製薬業界唯一の MR 研修専門情報誌』
Medical Education for MR
2017 年度のご案内



1 年 4 冊。

3月・6月・9月・12月の各 10 日に発行。

- ■ 春・夏・秋・冬年 4 回配布の継続教育テキスト
- ■ 年間購読で「MR の倫理、医薬品情報（PMS）、医薬概論」16 テーマの継続教育を保証
- ■ MR の継続教育に最適なアップ・トゥ・デイトの研修テーマを厳選
- ■ 毎号 4 テーマ・40 問の確認問題付き（ワードでご提供）
- ■ フルカラーにデザイン一新でわかりやすく使いやすく

トレーナーの皆さんの参考資料としてもぜひご活用ください。

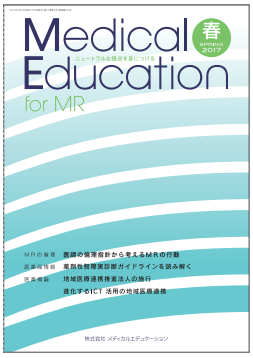
年間購読特典

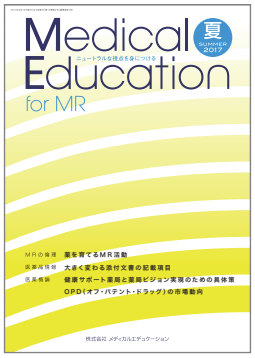
- 特典その1 最大 60% 引きの一括購入割引があります。
- 特典その2 『研修用パワーポイント素材集』を特別価格でご提供します。
- 特典その3 『研修用パワーポイント素材集』の『講義用マニュアル』を 30%引きでご提供します。

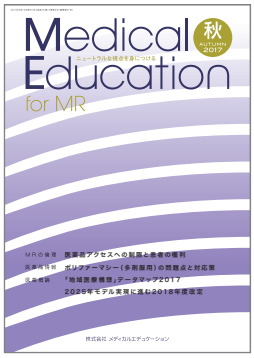
Medical Education for MR

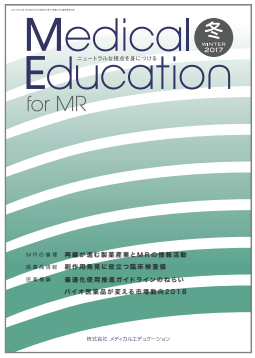
テキスト 年間購読

春・夏・秋・冬の年４冊。MR の継続教育に最適な アップ・トゥ・デイトの研修テーマを満載しています。



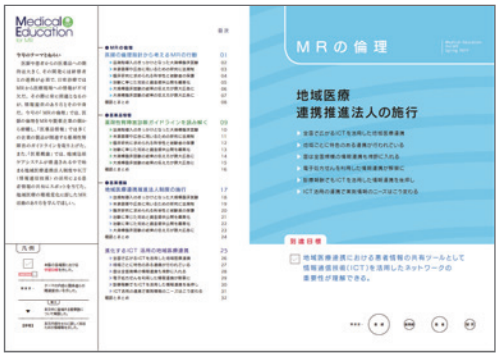






発行：３月・６月・９月・12 月の 10 日
体裁：A4 判／ 32 頁／フルカラー
各号１冊に３科目４テーマ収載
年間購読：価格￥**10,000**
単号（1 冊分）：￥**2,500**

年間購読は年度毎（1 月～ 12 月）での受付となります。
初回に発刊済みの号をお届けし、以降、発行日にお届けします。
１部からお申込みいただけます。



年間購読特別割引

一括購入の【割引率】を改訂しました。

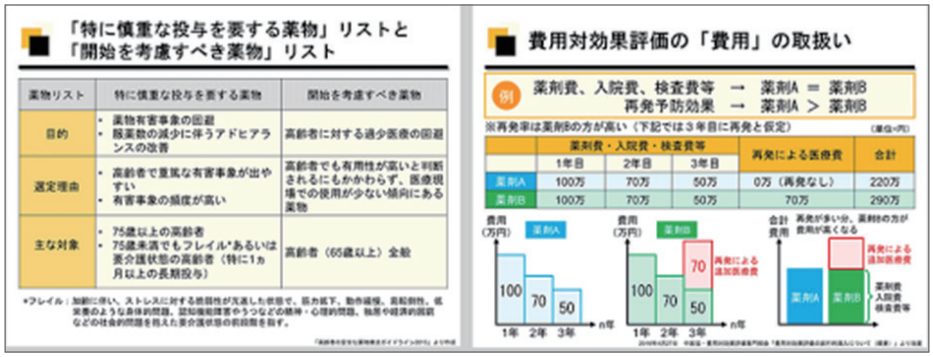
テキスト年間購読￥10,000 のところを…

５０～９９部：	5%引き
１００～２９９部：	10%引き
３００～４９９部：	30%引き
５００～６９９部：	40%引き
７００～９９９部：	45%引き
１０００～１２９９部：	55%引き
１３００部以上：	60%引き

Medical Education for MR

『研修用パワーポイント素材集』

年間合計 16 本の パワーポイントコンテンツをお届けします。



年間購読料：**32** 万円（税・送料別）
発行：3 月・6 月・9 月・12 月の 10 日
体裁：CD-ROM（各号 1 枚に
3 科目 4 テーマ収載）

年間購読の企業様のみ、本誌と同時に、毎号 4 つのテーマ（MR の倫理・医薬品情報 (PMS)・医薬概論）のパワーポイント（各 20 スライド前後）全コンテンツをお届けします。

※本商品はスライドのみでノート解説は一切付属しておりませんのでご注意ください。
素材集のバラ売りはしておりません。解説付パワーポイントは各科目 20 万円で販売しております。

Medical Education for MR

『講義用マニュアル』

年間購読企業様に限り 『講義用マニュアル』（年 4 冊）を 30%割引

発行：3 月・6 月・9 月・12 月の 10 日
体裁：A4 判／ 32 頁程度／フルカラー
各号 1 冊に 3 科目 4 テーマ収載
年間購読：価格￥**28,000**
単号（1 冊分）：￥**10,000**

『研修用パワーポイント素材集』を解説するための『講義用マニュアル』冊子です。
素材集の各スライドに対応する基本解説を用意しています。
集合教育時のトレーナー・講師用の手引書として、また、Medical Education 本誌のサブテキストとしてご活用ください。

Medical Education for MR

2017 テーマ一覧

各号テーマおよび発行日は都合により変更することがあります。

■2017 年春号　3 月 10 日発行予定

【MR の倫理】
医師の倫理指針から考えるＭＲの行動

2016 年 10 月、日本医師会の『医師の職業倫理指針』が 8 年ぶりに改訂された。本指針はこれまでも定期的に見直されてきた。この 8 年の間に、マイナンバー制度に対応する個人情報保護法の改正、日医 IT 化宣言 2016 に見られる ICT 活用の推進、終末期医療の進展など大きな医療上社会上の変化が生じている。医師と患者の関係の変化をにらみつつ、臨床研究を巡る課題や利益相反ガイドラインなど製薬企業とも関連が深いテーマも取り上げ、医師の倫理指針を読み解く。

【医薬品情報(PMS)】
薬剤性腎障害診療ガイドラインを読み解く

日本成人の 8 人に 1 人が慢性腎臓病 (CKD) である。CKD症例で薬剤性腎障害が腎不全への進行を早めることは多くの医師が経験している。多くの薬剤が腎排泄性あるいは腎障害性である以上、薬剤性腎障害はすべての製薬企業に共通する課題といえるだろう。こうした中、日本腎臓学会から「薬剤性腎障害診療ガイドライン 2016」が公開され、早期診断・治療・予防への対応が大きく進展した。ガイドラインに規定された薬剤性腎障害の診断基準を理解し、日常の安全性情報の収集・提供活動に活かす。

【医薬概論】
地域医療連携推進法人の施行

「地域医療連携推進法人制度」が 2017 年 4 月から施行される。異なる法人同士が本部機能をもつ法人の下にネットワークを構築し、統一的な連携方針を決定した上で、グループ内で診療科の再編や医師の配置替え、共同購入や医療機器の共同利用などが行われる。地域の医療資源の有効活用を目指し医薬品の採用方式にも影響する本制度は、地域包括ケア体制下の MR にとって地域の医療関係者の勉強会ツールとしても注目である。

【医薬概論】
進化する ICT 活用の地域医療連携と ICT 活用の最新情報

医療機関間をネットワークで結んで情報を共有し、高度な治療をスムーズに受けられるようにする取り組みが全国 200 ヵ所以上で行われているといわれる。また、電子処方せんが解禁になり、患者の薬歴情報の共有の環境も整い始めた。病院・診療所・薬局等をネットワーク回線で結び、診療情報（画像、検査、処方等）を共有する取り組みの実例を紹介しつつ、ICT で共有されない MR が必要とされる情報は何かを探る。

■2017 年夏号　6 月 10 日発行予定

【MR の倫理】
薬を育てるＭＲ活動

MR の市販後の情報活動による「育薬」の重要性が増している。すでに市販された医薬品について、患者背景や使用方法、効果・副作用などを調査・評価し、有効で安全な使い方に関する情報を増やしていく「育薬」は、自社医薬品の価値を高める上で重要である。研究開発の難易度が高まり創薬のハードルが年々高くなる現状において、MR が日常活動で行う育薬の意義と MR に求められる行動を考える。

【医薬品情報(PMS)】
大きく変わる添付文書の記載項目

医療用医薬品の添付文書の記載要領が約 20 年ぶりに改訂される。医療の高度化や IT の進歩、高齢化など、医療を取り巻く状況変化に対応し、医療関係者にわかりやすい記載内容へと整理が行われる。コンピュータのシステム改修が必要なため、一部を除き適用は 2019 年 4 月以降になるが、それまでに添付文書を見直す必要がある。MR にとって基本となる情報資材の改訂は、医療関係者への情報提供・伝達のレベルを上げる絶好の機会といえるだろう。

【医薬概論】
健康サポート薬局と薬局ビジョン実現のための具体策

2016年１０月より都道府県で健康サポート薬局の届け出がスタートした。厚生労働省は、2025 年までに全薬局がかかりつけ薬局となるためのアクションプラン報告書を 2017 年 3 月までにまとめるとしており、保険薬局の具体的な取り組み策が示される見込みである。先行した健康サポート薬局の公表制度を概観しつつ、アクションプラン報告書の内容から MR が知っておくべきこれからの薬局機能の行方を整理する。

【医薬概論】
OPD（オフ・パテント・ドラッグ）の市場動向

特許期間が満了した OPD (オフ・パテント・ドラッグ) 市場が後発品使用促進策の推進で大きな変革期に入っている。2016 年度診療報酬改定では、保険薬局の後発医薬品調剤体制加算や医療機関の後発医薬品使用体制加算のハードルが上がり、DPC 制度での後発品係数の基準が引き上げられた。中医協・2016 年度改定検証結果報告書から、後発品や長期収載品の使用の現状や医師・薬剤師の後発品・長期収載品への考え方などを探る。

Medical Education for MR

2017 テーマ一覧

各号テーマおよび発行日は都合により変更することがあります。

■2017 年秋号　9 月 10 日発行予定

【MR の倫理】
医薬品アクセスへの制限と患者の権利

医薬品は患者にとって大きな希望である。これまで先駆け審査指定制度や患者申出療養などドラッグラグを改善するための施策が進められてきたが、ここにきて高額薬剤の使用制限や費用対効果分析の導入が進められようとしている。これらは、医療費抑制とは別に、患者の医薬品へのアクセスに制限がかかり製薬企業の開発意欲をそぐという側面を持つ。患者の利益は守られるのか、製薬企業の立場から医薬品使用における新たな国の動きについて考える。

【医薬品情報(PMS)】
ポリファーマシー（多剤服用）の問題点と対応策

ポリファーマシー (polypharmacy) は、多剤併用、多剤服用、多剤処方などと訳され、海外では 5 種類以上、日本でも 5 ～ 6 種類以上の薬を併用している状態を指す。高齢者の多剤併用を要因とする有害事象が問題視されており、ポリファーマシーは高齢者の薬物治療の重要テーマとなっている。ポリファーマシーの課題を整理し、高齢者の安全な薬物療法ガイドラインをもとに医師や薬剤師に求められている役割、MR ができる支援を考える。

【医薬概論】
「地域医療構想」データマップ 2017

都道府県が策定する「地域医療構想」には、2 次医療圏ごとに機能別（超急性期・急性期・回復期・慢性期）の必要病床数など、地域の医療提供体制の具体像が描かれる。各都道府県の策定状況や 2025 年の必要病床と現在の病床数の傾向などを示し、都市部・地方のそれぞれ特徴的な都道府県の地域医療構想を取り上げ、その内容や背景を紹介する。

【医薬概論】
2025 年モデル実現に進む 2018 年度改定

2018 年度は診療報酬と介護報酬の同時改定に加え、都道府県の新たな医療計画が策定される。これらにより 2025 年に向けた医療提供体制の完成を目指し、さらなる強化・推進策が予想される。介護保険事業計画、医療費適正化計画、介護給付適正化計画など見直しが行われる施策を中心に、これまでの医療制度改革の流れと現状で問題となっている課題を整理する。2018 年度同時改定を落ち着いて迎えるために、どこよりも早い概要のまとめをお届けする。

■2017 年冬号　12 月 10 日発行予定

【MR の倫理】
再編が進む製薬産業とＭＲの情報活動

国内の製薬産業では、M&A や事業譲渡などによる再編が進んでいる。この背景には画期的な新薬への期待と後発品を推進する国の政策があり、これに呼応し、長期収載品と後発品をあわせた「オフ･パテント･ドラッグ」（OPD）市場の新たな動きもスタートしている。新薬への情報ニーズだけでなく、緩下剤による高マグネシウム血症の副作用のように、OPD でも長期使用の中で新たな情報ニーズが生じるケースも出てきた。激変する製薬産業の中で、先発品メーカー・後発品メーカーそれぞれの MR に求められている情報提供のあり方を探る。

【医薬品情報(PMS)】
副作用発見に役立つ臨床検査値

近年、大学病院が処方せんに臨床検査値を表示し、保険薬局の薬剤師が活用する取り組みが広がっている。臨床検査値は薬物治療の有効性、安全性の確保を図るための重要な指標であり、副作用発見の端緒としても高い割合を占めている。主要な検査値の意味と安全対策上の役割を確認し、医薬分業の現場で検査値を介した新しい取り組みを知る。

【医薬概論】
最適使用推進ガイドラインのねらい

超高額薬剤の問題を契機に、2018 年度は薬価制度の抜本的改革が予想される。たとえば、オプジーボの適応拡大のように高額薬剤使用量が大きく伸びたことで薬剤費負担が問題となり、期中の薬価引き下げや「最適使用推進ガイドライン」が策定された。薬価制度改革により導入される「最適使用推進ガイドライン」を開発型企業は避けて通れない。ガイドラインの概要と製薬企業や MR の情報活動への影響を考える。

【医薬概論】
バイオ医薬品が変える市場動向 2018

バイオ医薬品が売上上位品目の多くを占めるようになり、医師の関心も高まっている。また、特許切れを迎えるバイオ医薬品の増加に伴い、バイオ後続品も上市されはじめている。自社製品にバイオ関連がない場合にも、製薬産業に籍を置く者としてバイオ医薬品の医学的および市場的意味を知らなければならない。バイオ医薬品やバイオ後続品の登場が市場構造に与える影響を理解し、自社が勝ち残っていくための方向性を考える。

必要事項をご記入の上、ご返送ください
株式会社メディカルエデュケーション 行

URL: https://www.medicaleducation.co.jp/

ご購入申込書

FAX **03-5368-2181**

ご請求先／送付先	貴社名			
	部署 ご担当者			
	ご住所	〒		
	TEL		FAX	
e-mail				
ご要望欄				

請求書と異なる場所への送付をご希望のお客様は下記欄へご記入ください

別送付先	宛名			
	ご住所	〒	TEL	

商品の返品は承りかねますので予めご了承ください（汚破損・乱丁・落丁の場合を除きます）

Medical Education for MR

Medical Education for MR 2017年　年間購読

■ **Medical Education for MR 本誌テキスト**（1 契約 10,000 円）	購買部数 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 部
■ **『研修用パワーポイント素材集』** 全 16 コンテンツ（年間購読特別価格 32 万円）	申し込む　・　申し込まない
■ **『講義用マニュアル』年間購読** (1 契約 28,000 円)	購買部数 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 部

すべての価格は税別です。送料が別途かかります。